

製品名: LT- β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13481**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	LTB
別名	LTB; TNFC; TNFSF3; Lymphotoxin-beta; LT-beta; Tumor necrosis factor C; TNF-C; Tumor necrosis factor ligand superfamily member 3
遺伝子 ID	4050.0
SwissProt ID	Q06643
免疫原	抗血清はヒト TNFC 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

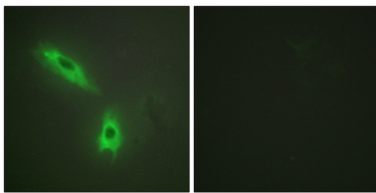
リンホトキシン β は、TNF ファミリーの II 型膜タンパク質です。リンホトキシン α をヘテロ三量体形成によって細胞表面に固定しま

す。リンパ球表面で優勢な形態はリンホトキシン $\alpha 1/\beta 2$ 複合体 (例: α 分子 1 個/ β 分子 2 個) であり、この複合体はリンホトキシン β 受容体の主要リガンドです。リンホトキシン $\alpha 2/\beta 1$ 複合体は、比較的少量しか存在しません。LTB は炎症反応系の誘導因子であり、リンパ組織の正常な発達に関与しています。リンホトキシン β アイソフォーム b はリンホトキシン α と複合体を形成できないため、リンホトキシン β はリンホトキシン α とは独立した機能を持つことが示唆されています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: LTBR/TNFRSF3 に結合するサイトカイン。免疫応答の調節において特定の役割を果たす可能性がある。ヘテロ三量体複合体が細胞表面に付着するための膜アンカーを提供する。アイソフォーム 2 はおそらく機能しない。類似性: 腫瘍壊死因子ファミリーに属する。サブユニット: LTB サブユニット 2 個と LTA サブユニット 1 個、または (より一般的ではないが) LTB サブユニット 1 個と LTA サブユニット 2 個からなるヘテロ三量体。組織特異性: 脾臓および胸腺。、

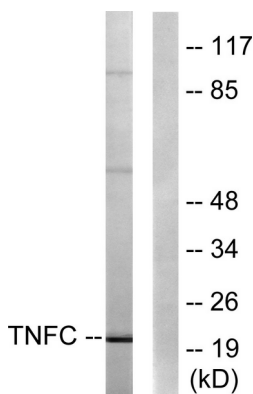
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

画像データ



TNFC 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TNFC 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



LT- β ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析